

## 栄光の時の到来

ヨハネによる福音書一七章一〜5節

(木)

イエスはこれらのことを話してから、天を見上げて言われた。

「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すた

めに、子に栄光を現してください。」(一)

主イエスは父なる神に祈りをささげるにあたり、「父よ、時が来ました」と言われしました。ついにイエスが神の御子としての栄光を現す時が来たというのです。けれどもこの栄光は、主イエスの十字架によって現されるものでした。十字架刑を受けるということは、恥以外の何ものでもありませんでした。けれども主イエスはそれを栄光だと言われたのです。それは、御子の犠牲をとおして旧約の預言が成就するからであり、神の救いの計画が成し遂げられ、罪人が救われる道が開かれるからです。神を信じる者たちは、主イエスの十字架の死に、神の御子としての栄光を見いだします。主イエスの十字架の犠牲によって、救われるはずがないこんな罪人の私が救われたのだ！という大きな喜びと感謝をもって、キリストの十字架を見上げるからです。主イエスの十字架に神の栄光が現されています。